



# Cisco UCS C シリーズ ソフトウェア リリース 1.4(5) リリース ノート

初版発行日：2012 年 6 月 11 日  
パート番号：OL-26884-01-J

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco Integrated Management Controller ソフトウェアおよび関連する BIOS、ファームウェア、ドライバを含む C シリーズのソフトウェア リリース 1.4(5) の新機能、システム要件、未解決の警告、および既知の動作について説明します。このドキュメントは、「[関連資料](#)」(P.27) の一覧にあるドキュメントと併せて使用します。



(注)

元のドキュメントの発行後に、ドキュメントを更新することがあります。マニュアルのアップデートについては、[Cisco.com](http://Cisco.com) で確認してください。

表 1 に、このドキュメントのオンライン変更履歴を示します。

表 1 オンライン変更履歴

パート番号	リビジョン	日付	説明
OL-26884-01-J	A0	2012年6月11日	リリース 1.4(5b) 向けリリース ノートを作成。
	B0	2012年6月15日	CIMC ファームウェア バージョンの変更のために、Host Upgrade Utility (HUU) のバージョンを 1.4(5e) に改訂しました。 リリース 1.4(5e) で対処された問題の項を追加しました。
	C0	2012年6月20日	CIMC および BIOS ファームウェア バージョンの変更のために、Host Upgrade Utility (HUU) のバージョンを 1.4(5g) に改訂しました。 リリース 1.4(5g) で対処された問題の項を追加しました。 リリース 1.4(5g) の未解決の警告の項を追加しました。 リリース 1.4(5g) の解決済みの警告の項を追加しました。
	D0	2012年7月10日	Host Upgrade Utility (HUU) のバージョンを 1.4.5g(2) に改訂しました。
	E0	2012年7月26日	リリース 1.4(5h) で対処された問題を追加しました。 CIMC ファームウェア バージョンの変更のために、C240 の Host Upgrade Utility (HUU) のバージョンを 1.4(5h) に改訂しました。

## 内容

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「概要」 (P.2)
- 「サポートされる機能」 (P.9)
- 「対処された問題」 (P.11)
- 「解決済みの警告」 (P.11)
- 「既知の動作」 (P.15)
- 「未解決の警告」 (P.19)
- 「関連資料」 (P.27)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.28)

## 概要

この項では、次のトピックを扱います。

- 「サーバ モデルの概要」 (P.3)

- 「プレインストールされている Cisco Flexible Flash カードの概要」 (P.3)
- 「ハードウェアおよびソフトウェアの相互運用性」 (P.4)
- 「トランシーバ仕様」 (P.4)
- 「ファームウェア ファイル」 (P.5)
- 「Host Upgrade Utility」 (P.5)
- 「システム要件」 (P.8)
- 「ファームウェアの更新」 (P.8)
- 「BIOS および CIMC ファームウェアのアップグレード」 (P.9)

## サーバ モデルの概要

Cisco UCS C220 M3 ラック サーバは、Web サービスから分散データベースまで、広範囲のビジネス上の負荷に対応できるパフォーマンスおよび密度のために設計されています。エンタープライズクラスの Cisco UCS C220 M3 サーバは、Intel Xeon プロセッサ E5-2600 製品ファミリの追加によって、1-RU フォーム ファクタの Cisco UCS ポートフォリオの機能を拡張します。また、Cisco UCS C220 M3 サーバは、最大 2 個の Intel Xeon プロセッサ E5-2600、16 個の DIMM スロット、8 台のディスクドライブ、および 2 個の 1 ギガビット イーサネット LAN On Motherboard (LOM) ポートを提供します。

Cisco UCS C240 M3 ラック サーバは、ビッグ データからコラボレーションまで、幅広いストレージ集約的なインフラストラクチャ負荷に対応できるパフォーマンスおよび拡張性の両方のために設計されています。エンタープライズクラスの Cisco UCS C240 M3 サーバは、Intel Xeon プロセッサ E5-2600 製品ファミリの追加によって、2-RU フォーム ファクタの Cisco UCS ポートフォリオの機能を拡張します。Cisco UCS C240 M3 は、最大 2 個の Intel Xeon プロセッサ E5-2600 製品ファミリ、24 個の DIMM スロット、24 台のディスク ドライブ、および 4 個の 1 ギガビット イーサネット LOM ポートを提供します。

Cisco UCS C220 M3 および Cisco UCS C240 M3 は、Cisco UCS P81E 仮想インターフェイス カード (VIC) を使用して、Cisco UCS とのインターフェイスとして機能します。Cisco UCS P81E VIC は、仮想化に最適化された Fibre Channel over Ethernet (FCoE) PCI Express (PCIe) 2.0 x8 10 Gbps アダプタで、Cisco UCS C シリーズ サーバで使用するように設計されています。VIC は、最大 18 個の PCIe 標準仮想インターフェイスをサポートできるデュアルポート 10 ギガビット イーサネット PCIe アダプタです。両方のインターフェイス タイプ (ネットワーク インターフェイス カード (NIC) またはホストバス アダプタ (HBA) と ID (MAC アドレスおよび World Wide Name (WWN)) がジャストインタイムのプロビジョニングを使用して確立されるように、動的に設定できます。また、Cisco UCS P81E は、ネットワーク インターフェイスの仮想化と Cisco Data Center Virtual Machine Fabric Extender (VM-FEX) テクノロジーをサポートできます。

## プレインストールされている Cisco Flexible Flash カードの概要

Cisco Flexible Flash カードには 3 つのソフトウェア バンドルがプレインストールされています。それぞれが、設定済みの 4 つの仮想ドライブ (VD) の 1 つになります。4 つ目の VD を使用して、OS または組み込みハイパーバイザをインストールできます。

VD は、次の内容で設定されています。

- Cisco UCS Server Configuration Utility (SCU)。
- Hypervisor (HV)。これは、自分の目的に合わせて使用できる VD です。
- Cisco Drivers (Drivers)。

- Cisco Host Upgrade Utility (HUU)。

これらのタスクの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- カードの交換 : 『Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide』または 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』
- VD のイネーブル化および起動 : 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide』 または 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Configuration Guide』
- CIMC によるカードのモニタリングおよび管理 : 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide』 または 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Configuration Guide』

これらのマニュアルへのリンクは、次の URL の C シリーズ マニュアル ロード マップ内にあります。

<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc>

## ハードウェアおよびソフトウェアの相互運用性

ストレージスイッチ、オペレーティングシステム、アダプタ、アダプタユーティリティ、およびストレージレイの相互運用性に関する詳細については、以下の URL にあるお使いのリリースのハードウェアおよびソフトウェア相互運用性マトリクスを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod\\_technical\\_reference\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html)

## トランシーバ仕様

Cisco UCS C シリーズ サーバは、Cisco 10GBASE SFP+ モジュールを使用して、さまざまな 10 ギガビットイーサネット接続オプションをサポートします。

表 2 および 表 3 では、コントローラおよびサポートされているトランシーバの詳細を示します。

表 2                      コントローラおよび SFP+ Twinax トランシーバのサポートマトリクス

コントローラ (LOM と PCIe)	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 1 m、パッシブ	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 3 m、パッシブ	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 5 m、パッシブ	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 7 m、アクティブ	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 10 m、アクティブ
	SFP-H10GB-CU1M	SFP-H10GB-CU3M	SFP-H10GB-CU5M	SFP-H10GB-ACU7M	SFP-H10GB-ACU10M
Cisco UCS P81E VIC	○	○	○	○	○
Intel x520	○	○	○	○	○
Broadcom 57712	○	○	○	○	○

表 3 コントローラと SFP+ 光トランシーバのサポート マトリクス

コントローラ (LOM と PCIe)	Intel SR Optics	JDSU (PLRXPL-SC-S43-22-N) SFP+	Cisco SFP-10G-SR
Cisco UCS P81E VIC	NA	NA	○
Intel x520	○	NA	非サポート
Broadcom 57712	NA	○	○

## ファームウェア ファイル

C シリーズのソフトウェア リリース 1.4(5) には、次のソフトウェア ファイルが含まれます。

表 4 このリリースのファイル

CCO ソフトウェア タイプ	ファイル名	コメント
Unified Computing System (UCS) サーバ ファームウェア	ucs-c220-huu-1.4.5g.2.iso ucs-c240-huu-1.4.5h.iso	Host Upgrade Utility
Unified Computing System (UCS) ドライバ	ucs-cxxx-drivers.1.4.5.iso	ドライバ
Unified Computing System (UCS) ユーティリティ	ucs-c2xx-utils-linux.1.4.5.iso ucs-c2xx-utils-vmware.1.4.5.iso ucs-c2xx-utils-windows.1.4.5.iso	ユーティリティ
Unified Computing System (UCS) アダプタ ファームウェア	ucs-cxxx-fw.1.4.5.iso	サードパーティ製ファームウェア



(注) 必ず HUU ISO から BIOS と CIMC の両方をアップグレードします。予期しない動作の原因となる場合があるため、コンポーネント (BIOS のみ、または CIMC のみ) を個別にアップグレードしないでください。

## Host Upgrade Utility

Cisco Host Upgrade Utility (HUU) は、次のファームウェアをアップグレードするツールです。

- Cisco Integrated Management Controller (CIMC)
- システム BIOS
- LAN On Motherboard (LOM)
  - Intel Ethernet i350 PCI Server Adapter
- LSI
  - LSI SAS2008
  - LSI MegaRAID SAS 9266-8i

- LSI MegaRAID SAS 9266CV-8i
- LSI MegaRAID SAS 9240-8i
- Cisco UCS P81E 仮想インターフェイス カード (VIC)
- Broadcom PCI アダプタ
  - 5709 デュアル/クアッド ポート アダプタ
  - 57712 デュアル ポート アダプタ
  - 57712 10GBaseT
- Intel i350 クアッド ポート アダプタ

ファームウェアのイメージファイルは、ISO に埋め込まれています。ユーティリティは、アップグレードするファームウェア コンポーネントを選択できるメニューを表示します。このユーティリティに関する詳細については、以下を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_user_guide_list.html)

この 1.4 リリース以降、さまざまなサーバプラットフォームで、Host Upgrade Utility の個別の ISO イメージを使用できます。

現在、ISO イメージには、`ucs-<server_platform>-huu-<version_number>.iso` という名前が付いています。

Cisco Host Upgrade Utility には、次のファイルが含まれています。

**表 5**                    **ucs-c220-huu-1.4.5g.2.iso 内のファイル**

サーバ	コンポーネント	バージョン
C220	CIMC	1.4(5g)
	BIOS	1.4.5e.0
	UCS P81E	2.0(2i) - uboot - 2.0(2i)
	LOM	
	Intel-i350	1.5 - 02.10 - 2.7.105 - 1.3.82 - 5.0.05 - 2.7.105
	EEPROM バージョン	1.5
	CISCO バージョン	02.10
	iSCSI バージョン	2.7.105
	PXE バージョン	1.3.82
	UEFI バージョン	5.0.05
	CLP バージョン	2.7.105
	LSI	
	LSI-2008	2.120.274-1543
	LSI-9240-8i	2.120.274-1543
	LSI 9266-8i	3.151.05-1458
	LSI-9266CV-8i	3.151.05-1458
	PCI	
	BCM 5709 デュアルポート	6.0.0
	BCM 5709 クォードポート	6.0.0
	BCM 57712 デュアルポート	A1213GT6444.0
	BCM-57712-10G-BaseT	A1202GT6441.0
	INTEL-I350	1.5 - 02.01 - 2.7.105 - 1.3.82 - 5.0.05 - 2.7.105

表 6 ucs-c240-huu-1.4.5h.2.iso 内のファイル

サーバ	コンポーネント	バージョン
C240	CIMC	1.4(5h)
	BIOS	1.4.5e.0
	UCS P81E	2.0(2i) - uboot - 2.0(2i)
	LOM	
	Intel-i350	1.5 - 02.10 - 2.7.105 - 1.3.82 - 5.0.05 - 2.7.105
	EEPROM バージョン	1.5
	CISCO バージョン	02.10
	iSCSI バージョン	2.7.105
	PXE バージョン	1.3.82
	UEFI バージョン	5.0.05
	CLP バージョン	2.7.105
	LSI	
	LSI-2008	2.120.274-1543
	LSI-9240-8i	2.120.274-1543
	LSI 9266-8i	3.151.05-1458
	LSI-9266CV-8i	3.151.05-1458
	PCI	
	BCM 5709 デュアル ポート	6.0.0
	BCM 5709 クォード ポート	6.0.0
	BCM 57712 デュアル ポート	A1213GT6444.0
	BCM-57712-10G-BaseT	A1202GT6441.0
	INTEL-I350	1.5 - 02.01 - 2.7.105 - 1.3.82 - 5.0.05 - 2.7.105

## システム要件

管理クライアントは、次の最小システム要件を満たしているか、これを超えている必要があります。

- Sun JRE 1.6.0\_14 以降
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Mozilla Firefox 3.0 以降
- Microsoft Windows 7、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Apple Mac OS X v10.6、Red Hat Enterprise Linux 5.0 以降のオペレーティング システム

## ファームウェアの更新

Host Upgrade Utility を使用して、C シリーズのファームウェアを更新します。Host Upgrade Utility は、次のソフトウェア コンポーネントをアップグレードできます。

- BIOS
- CIMC



- LAN On Motherboard の設定
- PCIe アダプタ ファームウェア

すべてのファームウェアは、サーバが正常に動作するようにまとめてアップグレードする必要があります。

## BIOS および CIMC ファームウェアのアップグレード



### 注意

BIOS ファームウェアをアップグレードする場合、CIMC ファームウェアも同じ HUU ISO からアップグレードする必要があります。そうしなければ、サーバが起動しないことがあります。BIOS および CIMC ファームウェアが更新されるまで、サーバの電源をオフにしないでください。

シスコは、Cisco Host Upgrade Utility を提供しています。これは、BIOS、CIMC、LOM、LSI ストレージコントローラ、および Cisco UCS P81E 仮想インターフェイスカードのファームウェアを互換性のあるレベルへアップグレードするために役立ちます。

サーバモデルに対して、互換性のある正しいファームウェアレベルが、ユーティリティ ISO に埋め込まれています。

このユーティリティを使用するには、ISO ユーティリティをダウンロードして使用するための指示を含む『Cisco Host Upgrade Utility User Guide』を使用します。次の URL からガイドを選択します。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_user_guide_list.html)

## サポートされる機能

この項では、次のトピックを扱います。

- 「サポート対象ハードウェア機能」 (P.9)
- 「サポート対象ソフトウェア機能」 (P.10)
- 「ソフトウェア ユーティリティ」 (P.10)
- 「サポートされるプラットフォーム」 (P.10)
- 「SNMP」 (P.10)

## サポート対象ハードウェア機能

次のハードウェア機能がリリース 1.4(5) でサポートされます。

- ディスク数の増加および次のインチ オプションの提供。
  - 4 台の HDD 3.5 インチ SKU
  - 12 台の HDD 3.5 インチ SKU
  - 16 台の HDD 2.5 インチ SKU

## サポート対象ソフトウェア機能

次のソフトウェア機能がリリース 1.4(5) でサポートされます。

- 基本サーバ コンポーネント ファームウェアを更新するための **update-all** および **show CLI** コマンドのシャーシ/ファームウェアのスコープでのサポート。



**(注)** これらのコマンドは、Cisco TAC の指示があった場合のみ使用してください。

コマンドの詳細については、『[Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Command Reference, Release 1.4](#)』を参照してください。

- 設置されているハードディスク ドライブの LED の切り替えの追加サポート。詳細は、次のガイドを参照してください。
  - [Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Command Reference, Release 1.4](#)
  - [Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide, Release 1.4](#)
- LSI MegaSR および Intel C600 SATA/SAS SCU を使用したソフトウェアベース RAID のサポート。

## ソフトウェア ユーティリティ

次の標準ユーティリティを使用できます。

- Host Update Utility (HUU)
- Interactive Offline Diagnostics (IOD) などの Server Config Utility (SCU)
- BIOS および CIMC ファームウェア アップデート ユーティリティ

ユーティリティ機能は次のとおりです。

- Intel Romley EP サーバ プラットフォームのサポート
- ブート可能な ISO イメージとして SD カード サブシステム上の HUU、SCU、およびドライバの提供
- [cisco.com](http://cisco.com) からサポートされるオンライン アップデート

## サポートされるプラットフォーム

リリース 1.4(5) では、次のプラットフォームがサポートされます

- UCS-C220
- UCS-C240

## SNMP

リリース 1.4(5) でサポートされる MIB 定義は、次のリンクから入手できます。

<ftp://ftp.cisco.com/pub/mibs/supportlists/ucs/ucs-C-supportlist.html>



(注) 上記のリンクは、IE 9.0 と互換性がありません。

## サポートされるストレージコントローラ

SNMP は次のストレージコントローラをサポートしています。

- Cisco UCSC RAID SAS 2008M-8i
- SAS 9266-8i

## 対処された問題

この項では、次のトピックを扱います。

- 「[リリース 1.4\(5h\) で対処された問題](#)」 (P.11)
- 「[リリース 1.4\(5e\) で対処された問題](#)」 (P.11)
- 「[リリース 1.4\(5g\) で対処された問題](#)」 (P.11)

## リリース 1.4(5h) で対処された問題

C240 冷却アルゴリズムは、システムアイドル状態の PCIe アダプタの過熱を防ぐために、リリース 1.4(5h) で変更されました。

## リリース 1.4(5e) で対処された問題

リリース 1.4(5e) は、E5-2643 CPU でのオペレーティングシステムのロード中にリセットするサーバの問題に対処します。

## リリース 1.4(5g) で対処された問題

リリース 1.4(5g) は、次の問題に対応します。

- CIMC のシャーシファームウェアに重要な修正を加えます。CIMC ファームウェアを更新し、アクティブにしたら、対応するシャーシのファームウェアバージョンを更新するために、シャーシスコープで、**update-all** コマンドを実行する必要があります。
- システムを再起動した際に BIOS POST 中に SEL に表示される致命的な障害に対処します。
- CPU の最大周波数を使用しない BIOS の [EIST Disable] オプションの問題に対処します。

## 解決済みの警告

この項では、次のトピックを扱います。

- 「[リリース 1.4\(5g\)](#)」 (P.12)
- 「[リリース 1.4\(5b\)](#)」 (P.12)

## リリース 1.4(5g)

次の警告は、1.4(5g) リリースで解決されました。

### CIMC

**症状** システム電源またはリブート中に、HDD のクリティカル イベントが SEL で生成される。

**対応策** これは実際にはクリティカル イベントではありません。HDD のクリティカル イベントは無害で、実際の HDD 障害を示すものではありません。システムでの OS 起動時に、クリティカル イベントをレポートした同じ HDD が正常になります。これは、LSI アプリケーションにも当てはまります。SEL は、クリティカル イベントが表示された HDD が、30 ~ 60 秒後に正常に戻ることを示す必要があります。(CSCtz96990)

**症状** HDD のクリティカル イベントは、進行中の RAID 再ビルド中に CIMC SEL で発生します。

**対応策** なし。(CSCtz25278)

**症状** 24 台の HDD を備えた C240 3.5 サーバおよび C240 2.5 サーバでは、Web BIOS または 9266-8i カードの [CIMC Storage Inventory] ページで [locate HDD LED] オプションをイネーブルにすると、HDD ドライブ障害がクリティカル イベントをアサートした後に、SEL で通常のイベントのアサートが解除されます。

**対応策** 次のアラートは無視します。

```
HDDXX_STATUS: Drive Slot sensor, Drive Fault was asserted
```

このアラートの後に、HDD LED プロセス中に生成されるアサート解除イベントが発生します。(CSCtz32109)

### BIOS

**症状** システムの再起動時に、BIOS POST は CATERR SEL イベントで停止します。BIOS POST は [Configuring platform hardware...] 画面で停止します。

**対応策** この問題は解決されました。Peripheral Component Interconnect Express (PCIe) の完了タイムアウトを長くして、この問題を解決しました。(CSCtz96190)

## リリース 1.4(5b)

次の警告は、1.4(5b) リリースで解決されました。

## CIMC

**症状** 電源復元ポリシーを復元状態に設定し、ホスト電源をオンにして AC 電源サイクルを実行した場合、Cisco UCS C220 および UCS C240 サーバはエラーを表示します。

**対応策** 固定遅延またはランダム遅延で、電源復元ポリシーをオンに設定します。(CSCty42040)

**症状** 2 台の PSU を使用すると、ホストが再起動またはシャットダウンせず、PSU 冗長性イベントが表示されます。ただし、両方の PSU に障害がある場合、ホストは引き続き再起動またはシャットダウンされます。

**対応策** なし。(CSCtx88937)

**症状** 製品 ID 情報は、PSU の Web GUI には表示されません。

**対応策** なし。(CSCtu09488)

**症状** 64 ビット Linux OS で KVM Viewer クライアントを実行する場合、vMedia タブを開いたときに、USB メモリまたはフロッピー ドライブなどのブロック デバイスでは、読み取り専用ボックスがオンになります。読み取り専用ボックスをオフにすることはできず、デバイスは、読み取り専用としてだけマッピングできます。

**対応策** KVM Viewer アプリケーションを実行しているクライアント システムには、32 ビット Linux OS または Windows OS を使用します。(CSCty37812)

**症状** 64 ビット Linux OS で KVM Viewer クライアント アプリケーションを使用する場合、フロッピーディスクとリムーバブルディスクの両方を同時にマッピングすると、アプリケーションが適切に機能しなくなります。つまり、ドライブのデータは無効になるか、または読み取れなくなります。一度に 1 台のドライブだけ（フロッピーディスクまたはリムーバブル ディスク）をマッピングする場合でも、予期しない障害が起こる可能性があります。たとえば、USB メモリをマッピングおよびマッピング解除した後に、vMedia タブの [Exit] ボタンをクリックし、vMedia タブを再び開きます。次に、デバイスのマッピングを再試行すると、vMedia タブがクラッシュし、すべてのマップ済みデバイスはマッピング解除されます。



**(注)** CD-ROM ドライブとイメージファイルのマッピングは、適切に動作します。/dev/sdX などの物理的な Linux のブロック デバイスをマッピングする場合に限り、この問題が発生します。

**対応策** 物理的なブロック デバイスをマッピングするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 一度に 1 台の物理的なブロック デバイスだけをマッピングします（フロッピーディスクとリムーバブル デバイスを一度にマッピングしないでください）。通常、これは正しく動作しますが、予期しない障害が発生することもあります。vMedia タブの機能が停止した場合は、クライアントを再起動します。
- ステップ 2** ブロッキング デバイスの内容の .img ファイルを生成し、これを代わりにマッピングします。この方法には、既知の問題がありません。

**ステップ 3** KVM Viewer/vMedia アプリケーションを実行するには、32 ビット Linux OS/Windows OS/Mac OS クライアント システムを使用します。(CSCty42187)

---

**症状** KVM Viewer のバージョンに、FCS のバージョン (2.0.0.27) が表示されません。これは、クライアント マシンが KVM/vMedia クライアントの新しい .jar ファイルをダウンロードせず、古いクライアントが実行されていることを意味します。この問題は、古い CIMC ファームウェアで KVM を使用して、CIMC をアップグレードしたときに発生します。KVM Viewer のバージョンを確認するには、KVM を起動し [Help] > [About KVM Viewer] に移動します。KVM Viewer のバージョンは、リリース 1.4(4a) では 2.0.0.27 になるはずですが。

**対応策** この問題を解決するには、Java の一時キャッシュ ファイルを削除し、CIMC GUI から KVM を起動します。Java コントロール パネル アプリケーション (javacpl.exe) は、Java JRE をインストールした bin ディレクトリにあります。

Windows では、c:\Program Files\Java\<JRE VERSION>\bin に移動し、キャッシュされた Cisco Virtual KVM Console アプリケーションを削除してからリモート プレゼンスを再起動します。

Linux では、Java ディレクトリ (/usr/java/jre1.6.0\_26/bin/ControlPanel など) に移動します。(CSCtx88477)

**症状** HUU の更新後に、KVM がキーボード入力に応答しません。

**対応策** 物理的なキーボードをサーバに接続し、Enter キーまたはその他のキーを押します。(CSCty34492)

**症状** Web GUI を使用して CIMC ファームウェアをリブートまたはアップグレードした後に、ログイン ページにリダイレクトされます。ログインしようとする、次のメッセージが表示されます。

A session is already active, please logout to clear the existing session.

ログアウトしてから再びログインした後でも、このメッセージが引き続き表示されます。

**対応策** クッキーとキャッシュを消去します。正常にログインできるはずですが。(CSCts39518)

## BIOS

**症状** 不良 DIMM のためにチャネルがディセーブルになっている場合、パトロール スクラブがディセーブルになります。

**対応策** 不良 DIMM を交換します。(CSCtx58908)

**症状** オプション ROM の空き領域がなくなったときに、クリティカル イベントとして POST エラー 0xA6A0 が表示されます。

**対応策** BIOS 設定では、Preboot eXecution Environment のサポートが必要ないアダプタのオプション ROM をディセーブルにします。(CSCtx68045)

**症状** Control + H キーを押すと、システムが停止します。この問題は、メザニンカードと 9266 アダプタの両方で確認されています。これは、断続的に発生しますが、一部のシステムでは障害の発生率が高くなっています。

**対応策** 次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** ホストを再起動します。
- ステップ 2** EFI シェルをロードし、**drvcfg -s** コマンドを実行します。  
Web BIOS が起動します。(CSCty15505)
- 

**症状** Web BIOS が、マウスのクリックに応答しません。

**対応策** キーボードの任意のキーを押します。(CSCtw53469)

**症状** [EIST] オプションが BIOS でディセーブルになっている場合、OS が、CPU 周波数 1.2 GHz で起動します。

**対応策** この問題は解決されました。[EIST] オプションが BIOS でディセーブルになっている場合、OS は、CPU 最大非ターボ周波数で起動します。(CSCtu29214)

## VMWare

**症状** C220 および C240 サーバで ESX/ESXi 4.1 U2 をインストールすると、コンソールに次のエラーが表示されます。

```
cpu0:4096)PCI: 2804: failed for 0000:xxx:yy.zz
```

**対応策** [VMWare KB](#) のナレッジ ベースのページを参照してください。(CSCtw86205)

## 既知の動作

この項は、次の内容で構成されています。

- 「リリース 1.4(5b)」(P.15)
- 「リリース 1.4(4a)」(P.17)

## リリース 1.4(5b)

ここでは、リリース 1.4(5b) の既知の動作を示します。

## CIMC

**症状** 大量または中程度の Serial Over LAN (SOL) トラフィック中に、Intelligent Platform Management Interface (IPMI) LAN インターフェイスが応答しなくなります。

**対応策** 大量の SoL トラフィック中に、IPMI クエリーを使用しないでください。

**症状** ブート ロードャーのバージョンで、CIMC バージョンの後に余分な文字が表示されます。

**対応策** これは新機能で、U ブート バージョンを表示します。

**症状** SAS ドライブだけが残り、SKUROM がない場合、システムは起動前のディスク検出画面で停止します。

**対応策** SAS ドライブを取り外し、SATA ドライブに置き換え、システムをリブートします。

## BIOS

**症状** [Power Saving] と [Performance Modes] に、3DPC で同じ 1.5V が表示されます。

**対応策** なし。これは、Intel メモリ ポートの予期される動作です。

**症状** SEL で LSI SWRAID OPROM がディスパッチされず、A6A0 警告が表示されます。

**対応策** BIOS 設定または CIMC の Configure BIOS を使用して、未使用デバイスのレガシー OPROM をディセーブルにします。

## LOM

**症状** CentOS-6.1 LiveCD を起動しようとする、vMedia が切断されます。

**対応策** なし。

**症状** すべてのオンボード LOM ポートの OPROMM は、C240 サーバ モデルの起動プロセス中に実行されません。

**対応策** システムを再起動します。

**症状** LOM オプション ROM の実行中に Esc キーを押すと、残りのオプション ROM がスキップされます。

**対応策** なし。



**症状** OVM3.0 が、インストール中に iSCSI ターゲットを検出できません。

**対応策** なし。

## リリース 1.4(4a)

ここでは、リリース 1.4(4a) の既知の動作を示します。

### CIMC

**症状** KVM を起動すると、「Login Failed」エラーが表示され、KVM が閉じます。

**対応策** 2～3分待ってから、KVM を再起動します。

**症状** cisco\_card モードのオプションが利用可能な場合でも、Network モードをこのモードに設定できません。

**対応策** Cisco UCS P81E カードを取り付けて、cisco\_card ネットワーク モードに移行します。

**症状** 電源復元ポリシーで、遅延タイプがランダムに設定されている場合に、遅延値が表示されます。

**対応策** 表示される値は無視してください。

**症状** vMedia の画像作成機能を使用して 4 GB を超えるファイルまたはフォルダサイズの画像を作成すると、次のメッセージが表示されます。

```
Create Image Failed. An error occurred in the Image library.
```

**対応策** より小さいサイズのファイルまたはフォルダを使用してください。

**症状** vMedia を使用して、.img ファイルと物理 USB メモリ（ペン/サム ドライブ）の両方を同時にマッピングしようとする、次のメッセージ（または同等のメッセージ）が表示されます。

```
Either Virtual media is detached or virtual media redirection for the selected virtual disk drive is already is in use by another user
```

**対応策** 一度に 1 台のドライブをマッピングします。

**症状** KVM と vMedia は、不適合の IE と JRE の実行可能ファイルでは動作しません。

**対応策** JRE が IE のバージョンに適合していることを確認します。

**症状** マウスが LSI Web BIOS ツールで機能しない、または追跡しません。

**対応策** 次のいずれかの回避策を使用します。

- 相対モーション、アクセラレーションなしにマウスを設定します。WebBIOS をレガシー OptionROM として実行すると、絶対マウス位置がサポートされず、アクセラレーションによる 2 カ所の相対位置モードが最適に動作しません。
- [KVM windows] > [Tools] > [single cursor] を使用して、単一カーソル モードにカーソルを移行します。単一カーソル モードでは、ローカル カーソルの動きとリモート カーソルの動きの間に不一致がなくなります。

**症状** BIOS のアップロード中に KVM を起動すると、BIOS の更新が失敗します。

**対応策** 次のいずれかの回避策を使用します。

- 別のブラウザまたはセッションで KVM を起動します。
- BIOS がアップロード段階にある間に、KVM を起動しないでください。

**症状** IE で KVM を起動すると、次のメッセージが表示されます。

Internet Explorer was not able to open this Internet site. The requested site is either unavailable or cannot be found.

**対応策** 次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** IE で、[Tools] > [Internet Options] を選択します。  
[Internet Options] ダイアログが表示されます。
- ステップ 2** [Advanced] タブをクリックします。
- ステップ 3** [Do not save encrypted pages to disk] オプションをオフにします。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
- 

**症状** SSH と HTTP の両方をディセーブルにすると、CIMC への接続が失われます。

**対応策** ディセーブルにした場合は、POST 中に F8 ユーティリティを使用して、工場出荷時のデフォルト設定に CIMC をリセットします。

**症状** CIMC Web GUI が、証明書のインポート プロセス後に表示されず、ブラウザに次のメッセージが表示されます。

Error :  
Invalid Server Certificate  
A request failed because the server's certificate was invalid.

**対応策** 証明書のインポート プロセス中に、[Subject Information] フィールドと [Issuer Information] フィールドに異なる値を指定します。

**症状** IE で、ネットワーク モードを cisco\_card モードに変更した場合、「Unable to parse xml」というメッセージが表示されます。

**対応策** 次のいずれかの回避策を使用します。

- バージョン 8.0.6001.18702 以降に IE ブラウザ バージョンを更新します。
- Firefox、Chrome などの他のブラウザ クライアントを使用します。

## BIOS

**症状** [Power Saving] と [Performance Modes] に、3DPC で同じ 1.5V が表示されます。

**対応策** なし。これは予期された動作です。

**症状** ベータ バージョンから FCS バージョンにアップグレードしている間、オプションが実行される前に、POST 画面の異なる時点（通常は初回のビデオ画面）で停止します。

**対応策** ホストをシャットダウンし、CMOS のクリアを実行します。

## 未解決の警告

この項は、次の内容で構成されています。

- [「リリース 1.4\(5g\)」 \(P.12\)](#)
- [「リリース 1.4\(5b\)」 \(P.20\)](#)
- [「リリース 1.4\(4a\)」 \(P.24\)](#)

## リリース 1.4(5g)

ここでは、リリース 1.4(5g) の未解決の警告を示します。

## CIMC

**症状** HDD 障害が、UCSC-C240-M3S の CIMC SEL でログに記録されません。

**対応策** CIMC のストレージ インベントリで、HDD 障害ステータスを確認できます。(CSCua51097)

**症状** BIOS の更新の直後に、**update-all** コマンドを実行すると、シャーシ コンポーネント ファームウェアの更新プロセスは失敗します。

**対応策** BIOS 更新後に **update-all** コマンドが失敗した場合は、CIMC を再起動します。(CSCua49441)

**症状** CIMC または BIOS の更新がすでに進行中の場合に、シャーシ コンポーネント ファームウェアを更新するために **update-all** コマンドを実行すると、次のメッセージが表示されます。

```
Can't run Firmware update, other Software Update running
```

これは予期された動作です。ただし、**update-all** コマンドを再び実行した場合は、次の不正なメッセージが表示されます。

Firmware update in progress

ここで、**show** コマンドを実行すると、別の不正なメッセージが表示されます。

Firmware update in progress, retry to get latest status

**対応策** すべての BIOS および CIMC の更新が完了した後に、次の作業を行います。

- 
- ステップ 1** CIMC Web GUI で、[WebGUI] -> [Admin]-> [Utilities] に移動します。
  - ステップ 2** CIMC を再起動するには、[Reboot CIMC] をクリックします。
  - ステップ 3** **update-all** コマンドを実行します。(CSCua49421)
- 

## リリース 1.4(5b)

ここでは、リリース 1.4(5b) の未解決の警告を示します。

### CIMC

**症状** KVM を起動すると、「Connection failed」エラーが表示され、KVM ウィンドウが開きません。

**対応策** 次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** CIMC Web GUI で、[WebGUI] -> [Admin]-> [Utilities] に移動します。
  - ステップ 2** CIMC を再起動するには、[Reboot CIMC] をクリックします。(CSCua06392)
- 

**症状** **Update-all** コマンドは矛盾したメッセージを返し、シャーシコンポーネントファームウェアが失敗することがあります。

**対応策** シャーシまたはファームウェアのスコープで次のコマンドを使用して、表示されるメッセージや警告を確認してください。

サーバ/シャーシ/ファームウェア番号 **show detail**

サーバ/シャーシ/ファームウェア番号 **update-all**

エラーまたは障害が発生した場合は、CIMC を再起動し、**update-all** コマンドをもう一度実行してください。(CSCua41121)

**症状** CIMC は SuperCap だけを認識し、課金および課金状態など、他のすべての情報は使用できません。

**対応策** なし。(CSCtz92792)

**症状** SuperCap バッテリで LSI 9265CV-8i を使用している場合、CIMC Web GUI に、「unknown」としてバッテリー ステータスが表示されます。

**対応策** バッテリ ステータスを読み取るには、MegaCLI または LSI Web BIOS を使用します。(CSCty64241)

**症状** イメージが vMedia にマッピングされた後に、持続時間カウンタが開始しません。

**対応策** 次の回避策を実行してください。

- 
- ステップ 1** 終了するには、[Virtual Media] タブの [Exit] をクリックします。
  - ステップ 2** [Virtual Media] タブをクリックして、再度ログインします。
  - ステップ 3** イメージまたは .iso を再度追加することによって、ISO を再マッピングします。(CSCtw80358)
- 

**症状** SNMP を通じて HDD を表示できません。

**対応策** 代替インターフェイスを使用するか、アクション後に HDD インベントリに対して snmp クエリーをもう一度実行します。(CSCty60975)

**症状** 仮想ディスクを展開した後に、「Reconstruction」仮想ディスク状態が、CIMC Web GUI に反映されません。

**対応策** 「Reconstruction」状態を表示するために、仮想ディスクの設定に使用したものと同一インターフェイスを使用します。インターフェイスは、Web GUI または MegaCLI のいずれかにすることができます。(CSCtx96912)

**症状** 200GB または 300GB INTEL SSD が設置されている場合、[Description] フィールドと [PID] フィールドには UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCCua14546)

**症状** Cisco UCSC RAID SAS 2008M-8i Mezzanine カード (RAID 0、1、10) に対して、PID は UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCCua13774)

**症状** Seagate ST32000444SS または ST3300656SS または ST31000640SS に対して、[PID] フィールドに UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCCua12160)

**症状** Broadcom 57712-T 10 Gbps 2 ポート NIC に対して、[PID] フィールドには、UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCua12084)

**症状** Emulex OCe11102-FX または Qlogic QLE8242-CU に対して、[PID] フィールドに UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCua11871)

**症状** UCS-CPU-E5-2660 に対して、[CPU PID] フィールドには、UNKNOWN と表示されます。

**対応策** なし。(CSCua11748)

**症状** SEL イベントが、OS ウォッチドッグ タイマーの終了時にログに記録されません。

**対応策** なし。(CSCtz77929)

**症状** MegaRAID 9266CV-8i w/FTM + LSI CacheVault に対して、PID に正しくない値が表示されません。

**対応策** なし。(CSCua25496)

**症状** Broadcom 5709 Dual Port 10/100/1Gb NIC w/TOE iSCSI に対して、PID に正しくない値が表示されます。

**対応策** なし。(CSCua13867)

**症状** 450W 電源の場合、実際の測定値が 11V のときに、PXUx\_VOUT の測定値が 1V を示します。

**対応策** なし。(CSCua06141)

## LSI

**症状** 複数のドライブの取り外しと差し込みを繰り返すと、LSI SWRAID OPROM が不整合状態になり、差し込まれたドライブまたは取り外されたドライブを検出できなくなることがあります。システムをリブートしても、この問題は解決せず、ドライブの状態が Online から Ready に変化し、データが失われるおそれがあります。

**対応策** 一度に 1 台のドライブを差し込み、または取り外し、SWRAID LSI OPROM がメッセージを通じてドライブ イベント（取り外しまたは差し込み）を検出するまで待つ必要があります。Esc キーを押してから、別のドライブを差し込み、または取り外します。(CSCtz68178)

**症状** C240 サーバで、Windows 2008 R2 SP1 のデバイス マネージャのストレージ コントローラ名には、C240 ではなく C220 としてサーバ モデル番号が表示されます。

**対応策** なし。(CSCtz48278)

**症状** 2008-8i MEZZ カードのシリアル番号および FRU の情報が、LSI Web BIOS と、MSM および MegaCli などの LSI ホスト アプリケーションに欠落しています。

**対応策** なし。(CSCtz24885)

**症状** I/O が RAID アレイの 2 台以上のハードディスク部分で動作している場合、I/O が動作し、RAID アレイの一部であるハードディスクだけでなく、RAID グループの一部ではない隣接するハードディスクでも、アクティビティ LED が緑色に点滅します。

**対応策** このハードディスクで動作している実際の I/O がないため、隣接するハードディスクで点滅しているアクティビティ LED は無視します。(CSCtz13588)

**症状** 再ビルド処理中にシステムをリポートすると、ドライブの再ビルド プロセスが完了しません。

**対応策** サーバをリポートする前に、再ビルドプロセスを完了させます (100% に到達させます)。(CSCty92714)

**症状** システムが起動前のドライブ検出画面で停止し、「Missing Drive」メッセージが表示されます。

**対応策** これはシステムに不良ドライブがある場合に発生します。交換が必要なドライブが不明な場合は、1 台を除いてすべてのドライブを取り外します。Ctrl + M キーを入力し、各ドライブをホット プラグして解決します。(CSCty78862)

**症状** LSI デバイスをスキャンする場合、BIOS POST 中にサーバが停止します。

**対応策** システムが停止した場合、システムをオフにして、障害が発生したドライブを取り外します。これは、ステータス LED がオレンジに点灯しているドライブです。ステータス LED は、ハードディスクの一番上にある LED です。このドライブを取り外した後で、システムをオンにします。これで、システムは、正常に起動するはずですが、障害が発生したドライブを新しいドライブに交換します。(CSCtx62350)

## BIOS

**症状** USB フロッピーディスク ドライブ (FDD) が、KVM コンソールにマウントしたときに起動しません。

**対応策** この問題は、USB FDD が vMedia を通じて接続される場合に発生します。この問題を解決するには、サーバに USB FDD を直接接続してください。(CSCtz85749)

**症状** E5-2640、E5-2660 などの異なる Sandybridge の SKU がシステムに設置されている場合、システムがオンになりません。

**対応策** 同一の SNB SKU を使用します。(CSCtz25795)

**症状** FCS BIOS バージョン 1-4-4c-0 から MR4 BIOS に BIOS をアップグレードした場合、シスコの仮想 FDD/HDD 1.22 起動オプションは、最初の起動セッション中に設定ページに表示されません。

**対応策** 機能への影響はありません。シスコの仮想 FDD/HDD 1.22 オプションは、[USB] ページと、インストール時に表示されます。後続のリポートは、起動オプションの設定ページに表示されます。(CSCua07001)

**症状** システムをオンにしたときに、連続的な BEEP 音が鳴ります。

**対応策** CIMC とホストを同時にオンにしないでください。電源装置をオンにした 3 分後に、ホストをオンにします。(CSCtz11862)

**症状** BIOS 設定の変更が、CIMC に反映されません。

**対応策** CIMC で、メモリの設定を Maximum Performance モードに手動で変更します。(CSCtz63644)

## リリース 1.4(4a)

ここでは、リリース 1.4(4a) の未解決の警告を示します。

### CIMC

**症状** LED 状態がオフに設定されていても、LED センサーの色が赤、オレンジ、青（またはサポートされている色）になります。

**対応策** LED 状態をオフに設定した場合は、LED の色を無視してください。(CSCth84883)

**症状** SNMPv2 および SNMPv3 トラップがイネーブлになっている場合に、SNMPv1 トラップが送信されます。

**対応策** なし。(CSCtr37876)

**症状** Web GUI および CLI で、AES 暗号化フィールドに、暗号化レベル（128、256 など）が表示されません。

**対応策** SNMP V3 暗号キーの長さは、明示的に指定する必要があります。SNMP エージェントは、AES（デフォルトでは 128 ビット暗号化）をサポートしています。(CSCtr31577)



**症状** SNMPv3 トラップが、Net-SNMP レシーバで受信されません。

**対応策** なし。(CSCtr83298)

**症状** 電源管理バス (PMBus) が電源情報を提供していないため、SNMP のインベントリで電源装置のシリアル番号を入手できません。

**対応策** なし。(CSCtw72543)

**症状** SNMPv3 トラップがイベントによってトリガーされた場合、AES 暗号化をイネーブルにした SNMPv3 ウォークで、「Decryption Error」が発生します。Secure Hash Algorithm (SHA) 認証でイベントがトリガーされたときに、「authentication failure」エラーも発生します。SHA トラップエラーは、「authpriv」と「authnopriv」の両方の設定で発生します。CIMC Web UI SNMP 設定ページで [Save All] をクリックしてマスター エージェントを再起動するまで、問題が継続します。

**対応策** v3 ユーザ設定で、メッセージ ダイジェスト アルゴリズム 5 (MD5) 認証と DES 暗号化を使用します。(CSCtx11173)

**症状** [KVM] 画面にブランク画面が表示されます。

**対応策** 物理モニタを使用して、画面の解像度を変更します。次の解像度がサポートされています。

- 640x480 (8bpp)
- 800x600 (8bpp)
- 1024x768 (8bpp)
- 1280x1024 (8bpp)
- 1600x1200 (8bpp)
- 1920x1080 (8bpp)
- 1920x1200 (8bpp)
- 640x480 (16bpp)
- 800x600 (16bpp)
- 1024x768 (16bpp)
- 1280x1024 (16bpp)
- 1600x1200 (16bpp)
- 1920x1080 (16bpp)
- 1920x1200 (16bpp)
- 640x480 (24bpp)
- 800x600 (24bpp)
- 1024x768 (24bpp)
- 1280x1024 (24bpp)
- 640x480 (32bpp)
- 800x600 (32bpp)

- 1024x768 (32bpp)
- 1280x1024 (32bpp) (CSCtx00839)

**症状** Web GUI から印刷が、Internet Explorer では動作しますが、Firefox では動作しません。

**対応策** なし。(CSCtc22985)

**症状** Cisco Flex Flash とともに LSI MegaRAID コントローラを使用する場合、SNMP\_Inv\_HDD: Disk\_IDD N および RN には、0,1,2 ではなく 0,0,0 のシーケンスが表示されます。

**対応策** CIMC Web GUI を使用して、ハード ドライブのインベントリをクエリーします。(CSCty26155)

**症状** Cisco Flex Flash カードとともに LSI MegaRAID コントローラを使用する場合、SNMP\_Inv\_HDD: DiskPresence には、equipped(10) ではなく、missing(11) が表示されます。

**対応策** CIMC Web GUI を使用して、ハード ドライブのインベントリをクエリーします。(CSCty26198)

**症状** Mac でクライアントを使用してリムーバブル メディアをマッピングすると、USB デバイスで読み取り専用モードだけがサポートされます。

**対応策** Windows クライアントまたは Linux 32 ビット クライアントを使用します。(CSCty32452)

**症状** MegaRAID ファームウェアをアップグレードした後に、CIMC Web GUI と CLI のストレージ情報が空になることがあります。

**対応策** CIMC Web GUI および CLI にストレージ情報を表示させるには、CIMC を再起動します。(CSCtx08443)

**症状** BIOS を起動すると、次のメッセージが表示されることがあります。

Error on Getting CIMC IP/MAC Address.

**対応策** このメッセージは無視してもかまいません。(CSCtx27907)

**症状** CIMC を起動したときに、HTTP Web UI が開始されないことがあります。

**対応策** CIMC を再起動します。(CSCtx19968)

## BIOS

**症状** Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 環境からインストールする場合、OS のインストールが停止します。

**対応策** EFI OS は現在サポートされていません。(CSCtw78721)

**症状** (メモリ初期化に失敗した) 不良 DIMM がいずれかの DIMM スロットにある場合、BIOS は、不良 DIMM と同じチャネルにある他の DIMM をマップアウトすることがあります。

**対応策** 不良 DIMM を取り外し、または交換します。(CSCtx85587)

**症状** Broadcom 5709 ギガビット イーサネット アダプタをいずれかの PCIE スロットに差し込んだ場合、サーバが起動プロセス中の BIOS POST 画面で停止します。

**対応策** Broadcom 5709 ギガビット イーサネット アダプタのファームウェアをバージョン 5.2.7 以降にアップグレードします。(CSCtx92042)

## LOM

**症状** セカンダリ iSCSI ポートが設定されている場合、iSCSI ターゲットから起動すると、カーネルパニックが発生します。

**対応策** なし。(CSCty19869)

## LSI

**症状** LSI コントローラをダウングレードした場合、CIMC Web GUI および CLI に情報 (LSI コントローラの以前のバージョンの仮想ドライブ、ファームウェアなど) が表示されることがあります。

**対応策** CIMC Web GUI および CLI に正しい情報が伝播されるように、ホスト マシンを再起動します。(CSCtx08449)

## その他

**症状** システムの AC 電源サイクルの後に、PSU 障害イベントが発生します。

**対応策** AC 電源サイクルの直後に、SEL に表示される PSU 障害イベントは無視します。(CSCty38769)

## VMWare

**症状** ESXi 4.1U2 および ESXi 5.0 上の UCS P81E で、SAN からの起動が失敗し、インストール時に重大なエラーが表示されます。

**対応策** この問題は、asynch FNIC ドライババージョンで解決できます。ESXi 4.1 U2 および ESXi 5.0 用の Cisco FNIC ドライバと統合されたカスタム ISO は、[www.vmware.com](http://www.vmware.com) で入手できます。(CSCtx25927)

## 関連資料

このリリースの設定については、次を参照してください。

- 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Configuration Guide』

- 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller Configuration Guide』
- 『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Command Reference』

次の関連資料は、Cisco Unified Computing System (UCS) で入手できます。

- 『Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap』
- 『Cisco UCS Site Preparation Guide』
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>